

二葉の里歴史の散歩道

散策マップ



散歩道の魅力

広島市の都市の歴史は、400年余り前の戦国時代、毛利輝元が太田川デルタに城を築き、この地を「広島」と命名したことに始まる。

毛利輝元、福島正則、浅野氏と変わる歴代の城主は城の鬼門にあたる北東の地、二葉の里方面に領土鎮護のため、お寺や神社を建てた。

古くは、1000年前まで遡る歴史を持つこの散歩道の中で、原爆により焼失した由緒ある神社やお寺もあるが再建され、先人の歩んできた歴史を今日に伝えている。



一、らくらく七福神コース

七福神がある社寺を巡るコース。
⑦饒津神社～⑧明星院～⑨鶴羽根神社～⑩広島東照宮～⑬尾長天満宮～⑭國前寺～⑮聖光寺

二、国宝探訪健脚コース

市内唯一の国宝がある「不動院」まで行くコース。
⑦饒津神社～⑥安楽寺～工兵橋～②日通寺～①不動院

三、見晴らし満喫コース

二葉山山頂まで登るコース。階段の山道を登る。
⑩広島東照宮～⑪金光稲荷神社～高射機銃陣地跡～⑫二葉山平和塔～⑬尾長天満宮

四、合格祈願コース

菅原道真を祭る「尾長天満宮」とミソ地藏のある「才蔵寺」を巡るコース。
⑩広島東照宮～⑬尾長天満宮～⑯才蔵寺

五、西国街道コース

西国街道の復元された情緒ある猿猴橋を起点にカーブ必勝祈願のできる愛宕神社をめぐるコース。
猿猴橋～愛宕神社～我羅我羅橋跡・三本松～⑯才蔵寺～岩鼻跡～矢賀一里塚跡

凡	例
—	二葉の里歴史の散歩道
—	西国街道
	バス停
	JR
	アストラムライン
	トイレ

二葉の里歴史の散歩道全コース

